ムハンマドの魂がその御手に委ねられているお方にかけて。このウンマ（共同体）の内のユダヤ教徒でもキリスト教徒でも、私について耳にし、それから私が携えて来たもの（啓示）を信仰しない状態のまま死んだ者は、例外なく地獄の徒となる。

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は、預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）が、このように語ったと伝えている：「ムハンマドの魂がその御
手に委ねられているお方にかけて。このウンマ（共同体）の内のユダヤ教徒でもキリスト教徒でも、私について耳にし、それから私が携えて来たもの（啓示）を信仰
しない状態のまま死んだ者は、例外なく地獄の徒となる。」 [真正] [ムスリムの伝承]

預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）はアッラーに誓って、こう言った： 「このウンマ（共同体）」とは、預言者の存命していた時期、およびそれ以後、復活の日までに至る、全ての者たちのこと。 「ユダヤ教徒でもキリスト教徒でも、私について耳にし・・・」とは、ユダヤ教徒、キリスト教徒、またはそれ以外の者たちで、預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）の伝道が届いた者たちのこと。それらの者たちの内、それを信仰しない状態のまま死んだ者は、例外なく地獄の徒となり、永遠にその中に留まることになる。 ここで特にユダヤ教徒とキリスト教徒が言及されているのは、それ以外の者たちに対する喚起の意味である。ユダヤ教徒もキリスト教徒も啓典を授かっているが、啓典の民がそのような状況であれば、啓典を授かっていない者たちについては尚更であり、預言者ムハンマド（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）の宗教を信じ従うことが求められる。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/3272